

「令和の日本型学校教育」の実現に向けて

- ◇ R3年答申 授業観・学習観の転換
 - 「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の推進
- ◇ R4年答申 研修観の転換
 - 新たな教師の学びの姿 「主体的な姿勢」「継続的な学び」「個別最適な学び」「協働的な学び」
 - 教師の学びの姿も、子供の学びの相似形
 - 子供にとつてのロールモデル

研修履歴を基にした目標設定

教職員としての「現在の姿」を振り返り、「将来の姿」をイメージしよう

学びの成果
を可視化・共有化

現状把握と適切な目標設定

研修履歴の記録

浜松市の教職員に求められる資質能力

- A 教育的素養
- B 授業を創る力
- C 子供と関わる力
- D 特別な配慮や支援を必要とする子供への対応
- E ICTや情報・教育データの利活用
- F よりよい教育を進め、高める力

浜松市教員育成指標

目的をもった研修受講

- 自分なりの気付きや変化を得よう
- 新しい知識やスキルの獲得
- 実践の価値付けや捉え直し
- 自身の教育観を見つめる

浜松市の教職員研修

新たな研修制度に向けた法改正等

- ◇ R4 教育公務員特例法及び教員免許法の一部を改正する法律
 - 教員免許更新制発展的解消
 - 研修履歴の記録作成
 - 資質向上に関する指導助言
- ◇ R4 公立の小学校等の校長及び教員としての資質の向上に関する指標の策定に関する指針の改正

管理職との対話

- 学びの方向性を定めよう
- 自身の強み、弱み
- 今後伸ばすべき力
- 学校で果たすべき役割
- 学校を支える力

対話に基づくと受講奨励



「すべては子供たちの笑顔のために そして未来のために」